

学 校 名	北区立王子第五小学校
コーディネーター数	2人
ボランティア数	16人

活動の概要

地域の老人会の方から昔あそびを学び、その中で子供と地域が交流し、お互い理解しあえる関係を深める。また、子供達はお年寄りに対する言葉づかい（あいさつ、お礼）を学ぶことができる。6ブース（お手玉、あやとり、けん玉、こま回し、まりつき、羽根つきとかんぼっくり）に分かれ、子供たちが全てのブースを回り、昔あそびを体験する。

その後、子供たちは1ヶ月昔あそびを練習し、老人会の方の前で発表会を行う。1ヶ月間の頑張りや達成感を皆で共有することができる。



コーディネーターの役割

- ・老人会との日程調整や人数の把握
- ・担任教員と内容の打合せ
- ・当日の運営サポート

活動上の工夫や配慮等

- ・当日が雨だったので、校舎内も土足で入ってもらえるよう足元の安全を考慮した
 - ・子供達の集中を切らさないようブースを増やし、短時間でローテーションできるようにした
- 活動の成果や感想（実践を通じた児童・生徒、地域の活動者、学校等の声や反応など）

【児童の声】

「難しくくてできないこともあったけど、おばさんに教えてもらってできるようになった。」や「うまくできたものはもっと練習して、発表会ではもっとうまくなっていたい。」など、楽しく地域と関わったようだった。

【老人会のボランティアの声】

「子供達が素直で元気に育っていると感じた。担任の先生方の指導に感謝したい。」と、学校への関わりへ積極的な様子だった。

【学校の声】

「たくさんの地域の方にお越しいただき、ありがたかったです。みなさんその場で役割分担し、遊び方を丁寧に教えてくださいましたので、子供達も大喜びで遊びにのめりこんでいました。地域ならではの取り組みだと思います。」と、地域の力に感謝されていた。